

第Ⅱ章 調査結果

1. 住まいの損害保険および共済の加入状況

本調査結果の集計は、住まいの損害保険・共済等の加入状況により、地震保険の加入・非加入の別で2区分、その詳細として5区分に分けて行った。

具体的な区分内容は以下の通りである。

(1) 地震保険加入状況：2区分

地震保険加入者 (5,991サンプル)	地震危険を損害保険でカバーすることを選択している回答者 本調査においては、「住居建物」または「家財」の少なくともどちらか一方に対して地震保険に加入している回答者のこと。地震保険は火災保険とセットで加入する商品であるため、これらの回答者は同時に火災保険にも加入している
地震保険非加入者 (8,991サンプル)	上記以外の回答者

(2) 地震保険加入状況（詳細）：5区分

地震保険加入者 (5,991サンプル)	前掲
共済加入者(地震補償) (1,285サンプル)	地震危険を共済でカバーすることを選択している回答者 本調査においては、上記の地震保険加入者以外で、「住居建物」または「家財」の少なくともどちらか一方に対して、地震危険をカバーする共済に加入している回答者のこと
火災保険のみ加入者 (5,843サンプル)	火災保険に加入する際に地震保険には加入しないことを選択した回答者 本調査においては、上記の2区分以外で、「住居建物」または「家財」の少なくともどちらか一方に対して火災保険に加入している回答者のこと
共済加入者(地震補償対象外) (232サンプル)	地震危険を共済でカバーしないことを選択している回答者 本調査においては、上記の3区分以外で、「住居建物」または「家財」の少なくともどちらか一方に対して、共済に加入している回答者のこと
保険・共済非加入者 (1,631サンプル)	上記の4区分以外の回答者

《参考》住居建物・家財別 地震保険加入状況（詳細）別 サンプル数

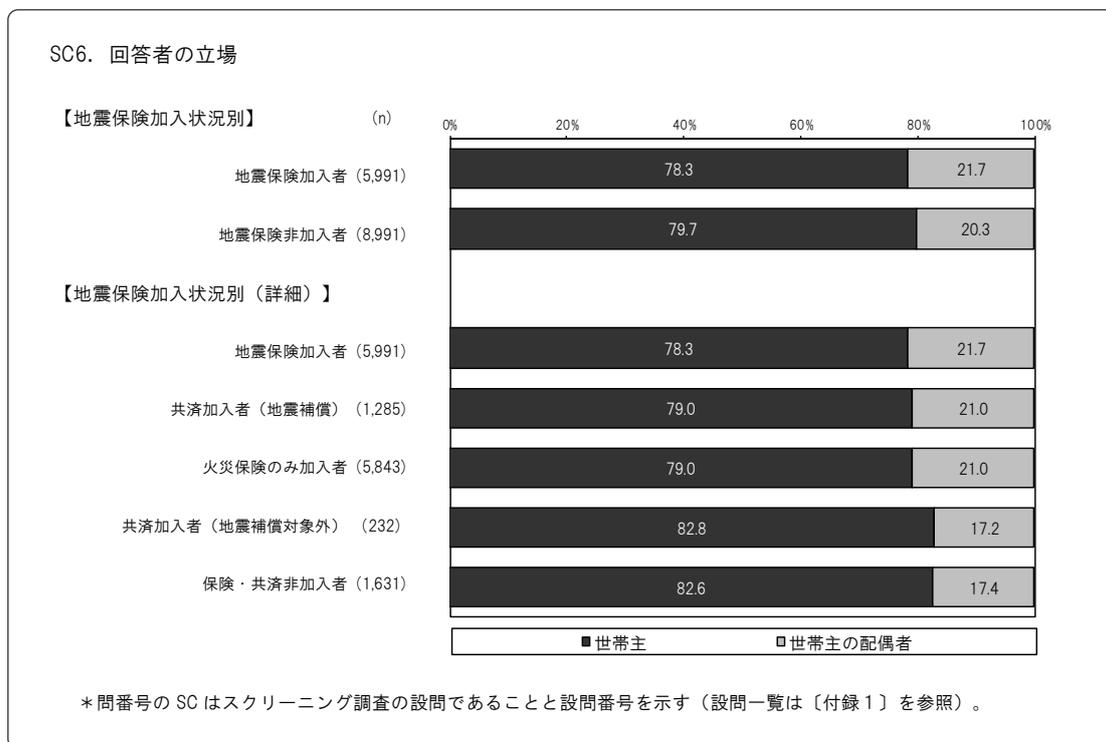
スクリーニング調査のSC15とSC16（付録1を参照）では、住居建物と家財それぞれについて、損害保険や共済等の加入状況を質問している。各加入状況を一覧化した結果を下表に示す。例えば、地震保険加入者（5,991サンプル）のうち、住居建物と家財のどちらとも地震保険に加入している者は約7割（4,184サンプル）となっている。

「住居建物」加入状況 (SC15)		1-2	4-7	3	10	11	計 (重複を除く)
		地震保険加入者	共済加入者(地震補償)	火災保険のみ加入者	共済加入者(地震補償対象外)	保険・共済非加入者	
「家財」加入状況 (SC16)		1-2	4-7	3	10	11	
1 1/2	地震保険加入者	4,184	21	28	2	603	4,838
4 1/7	共済加入者(地震補償)	193	914	71	8	92	1,278
3	火災保険のみ加入者	299	75	3,383	4	1,412	5,173
8	共済加入者(地震補償対象外)	40	17	77	112	98	344
9	保険・共済非加入者	621	108	967	22	1,631	3,349
計（重複を除く）		5,337	1,135	4,526	148	3,836	14,982

(注) 前ページの「(2) 地震保険加入状況（詳細）：5区分」のサンプル数は、「住居建物」と「家財」の何れかが加入状況に該当するサンプル数を集計した値のため、本表のサンプル数計とは値が異なる。

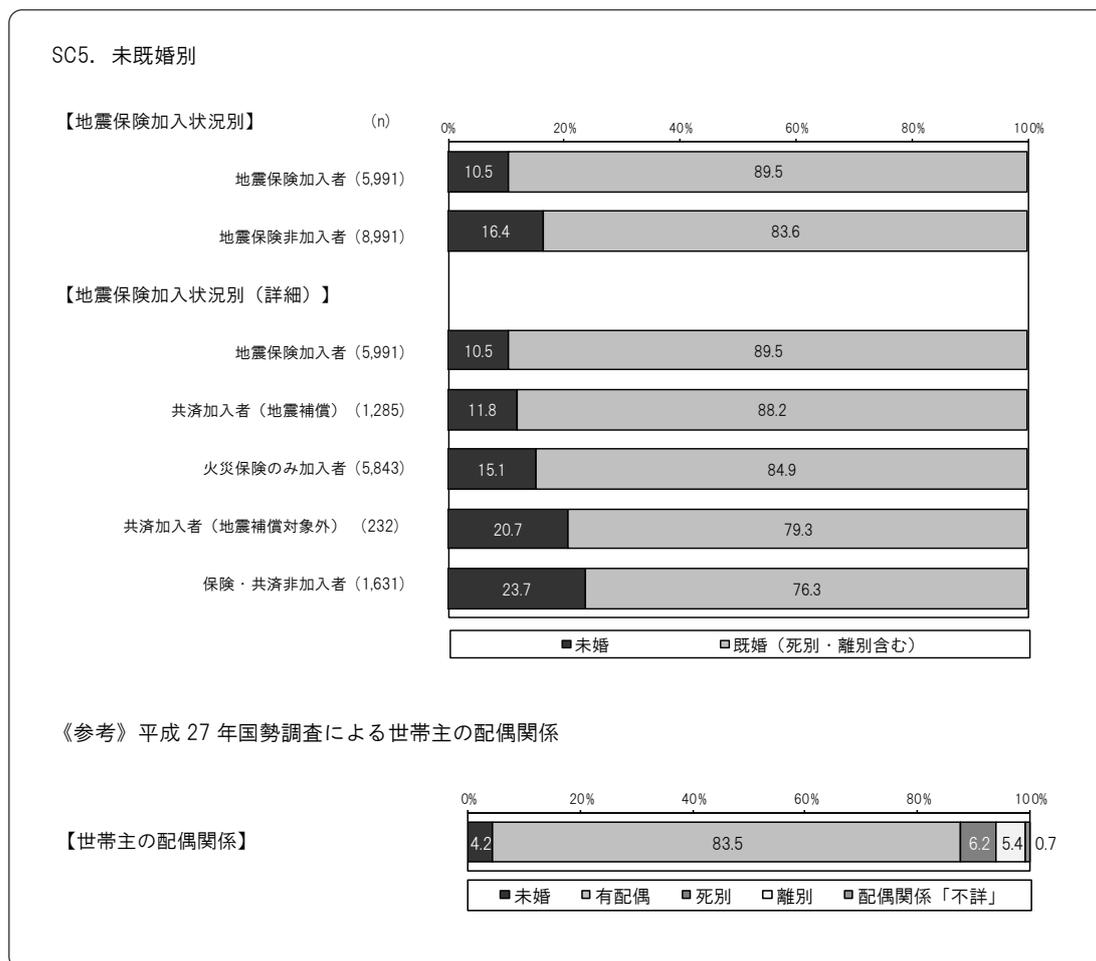
2. 回答者および回答者世帯の属性

(1) 回答者の立場



本調査は、世帯主またはその配偶者を対象として実施した。回答者における世帯主の比率はどの区分も 8 割前後である。

(2) 未既婚別



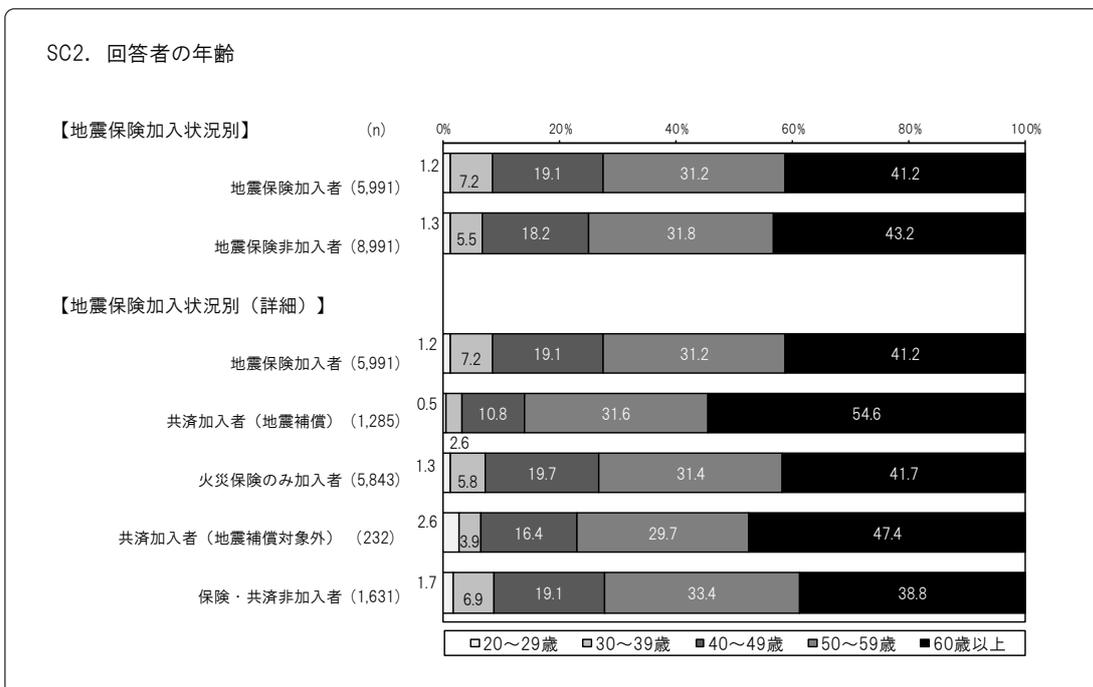
「既婚」の比率は、地震保険加入者が89.5%、地震保険非加入者が83.6%で、約6ポイントの差がある。

地震保険非加入者を詳細にみると、共済加入者（地震補償）は「既婚」（88.2%）の比率が他の区分よりも高い。また、保険・共済非加入者は「未婚」（23.7%）の比率が最も多い。

《参考》として、平成27年国勢調査による世帯主の配偶関係を示す。本調査のサンプルは、国勢調査よりも「未婚」の比率が高い。

(3) 回答者および世帯主の年齢

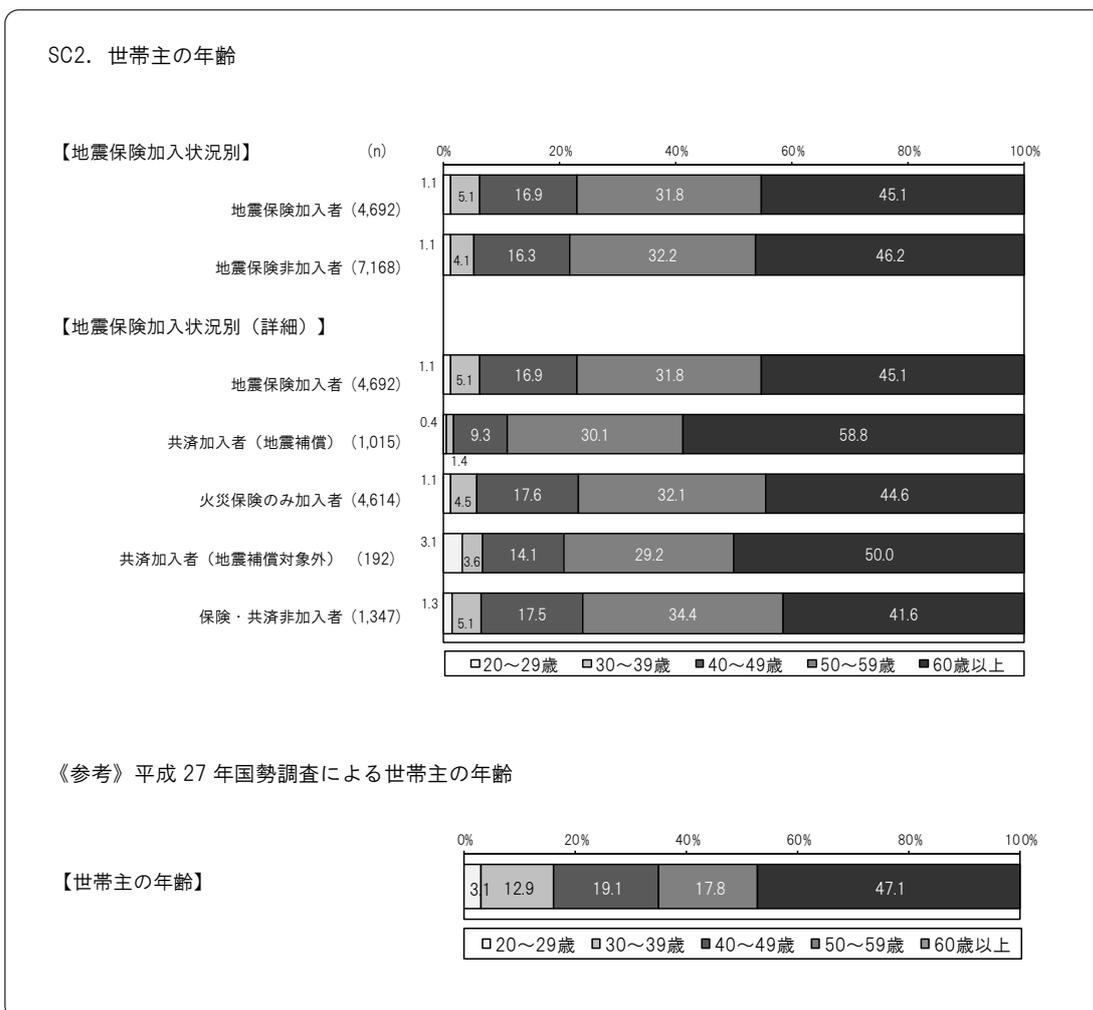
① 回答者の年齢



回答者の年齢構成は、地震保険加入者・非加入者とも60歳以上が最も多く、大きな差はない。

地震保険非加入者を詳細にみると、共済加入者（地震補償）では60歳以上が54.6%で他の区分を上回る。

② 世帯主の年齢



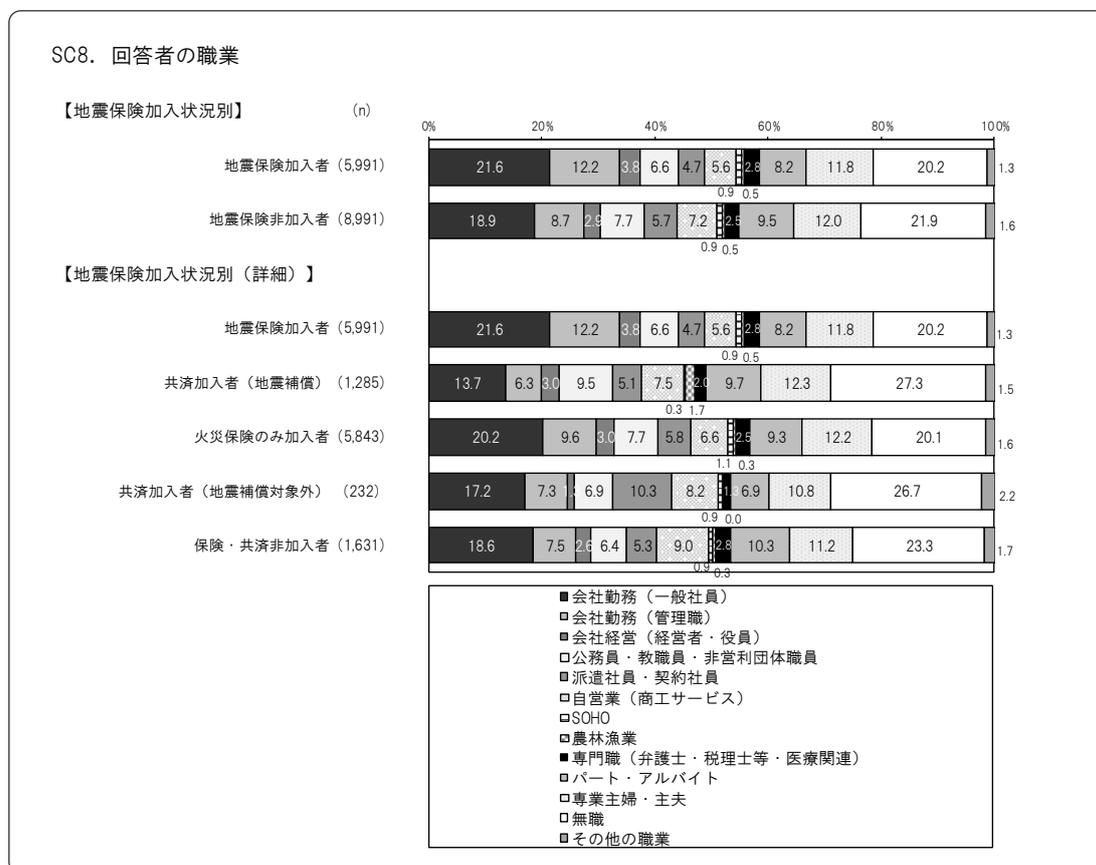
回答者のうち、世帯主である人の年齢構成をみると、地震保険加入者・非加入者とも60歳以上が最も多く、大きな差はない。

地震保険非加入者を詳細にみると、共済加入者（地震補償）は60歳以上が58.8%で他の区分を上回る。

《参考》として、平成27年国勢調査による世帯主の年齢構成を示す。地震保険加入者・非加入者ともに、国勢調査よりも30~39歳の比率が低く、50~59歳の比率が高い。

(4) 回答者および世帯主の職業

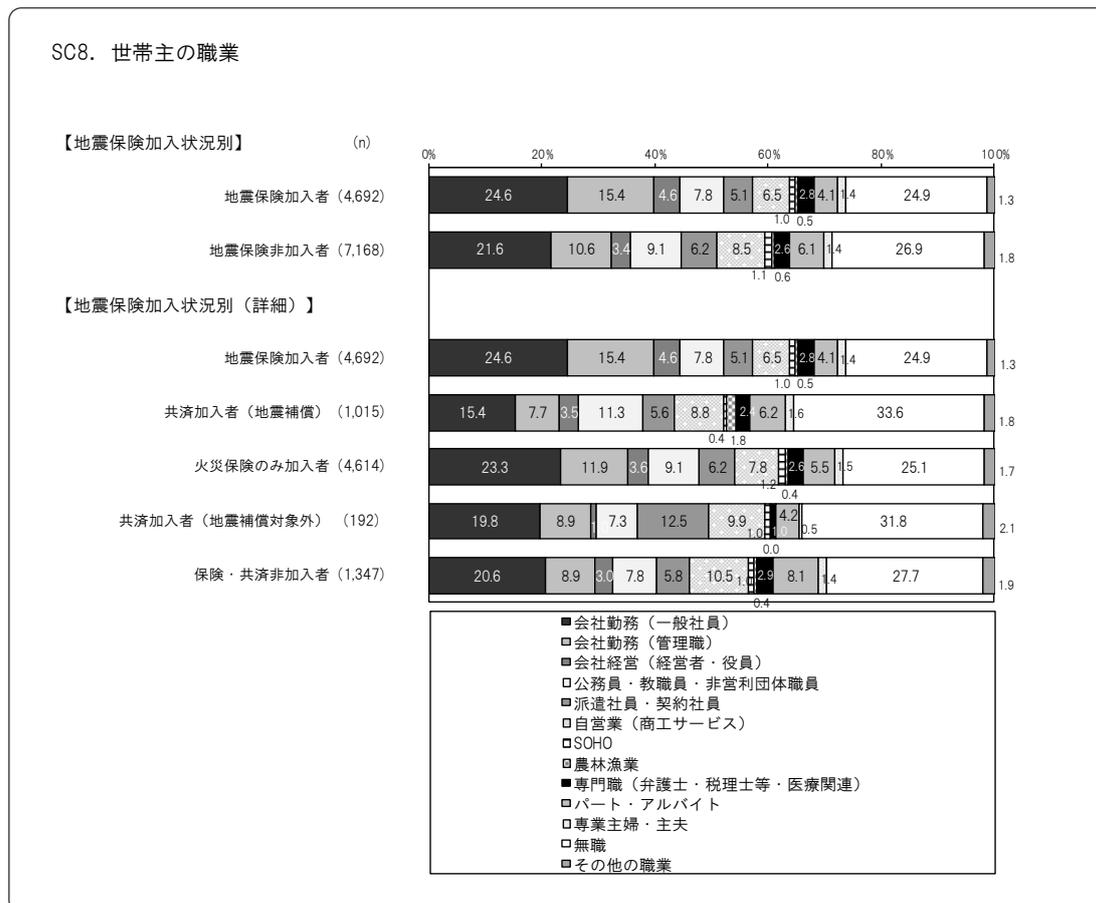
① 回答者の職業



回答者の職業については、会社員（一般社員、管理職、経営者・役員の合計）の比率が地震保険加入者は37.6%（=21.6%+12.2%+3.8%）、地震保険非加入者は30.5%（=18.9%+8.7%+2.9%）を占め、他の職業よりも高い。次いで、地震保険加入者・非加入者とも「無職」が約2割を占める。

地震保険非加入者を詳細にみると、共済加入者（地震補償）は会社員の比率が23.0%（=13.7%+6.3%+3.0%）で、他の区分よりやや低い。また、「無職」の比率は、共済加入者（地震補償）と共済加入者（地震補償対象外）が他の区分よりやや高い。

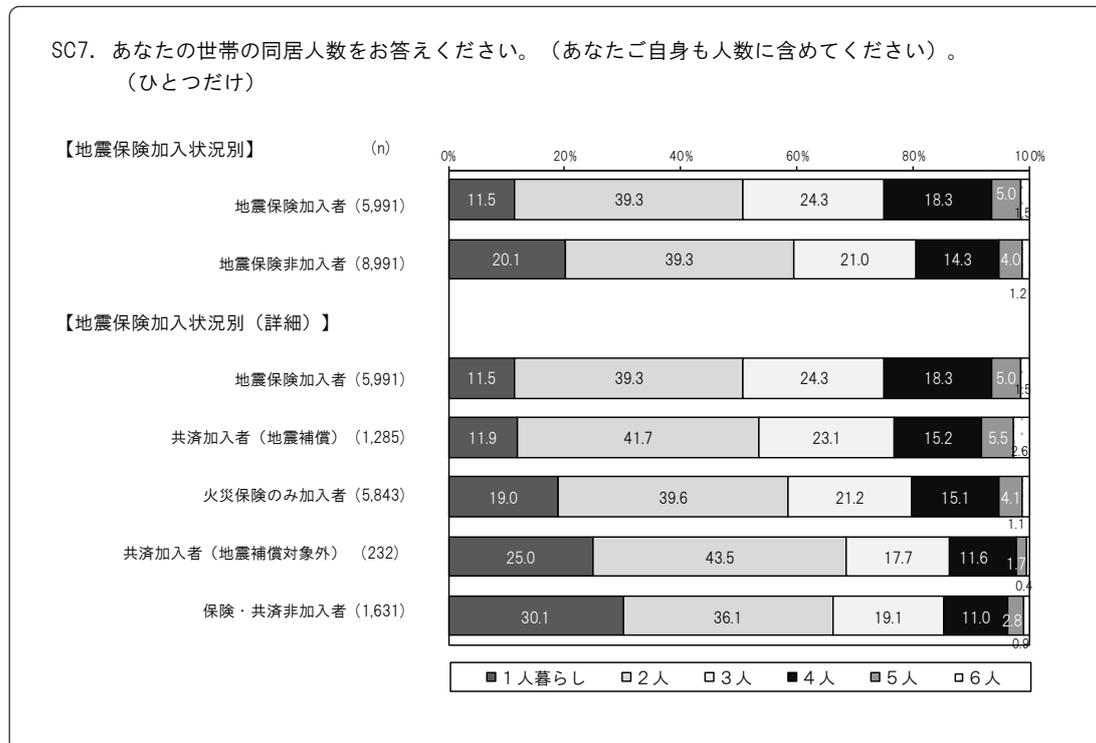
② 世帯主の職業



回答者のうち、世帯主である人の職業は、会社員（一般社員、管理職、経営者・役員の合計）の比率が地震保険加入者は44.6%（＝24.6%＋15.4%＋4.6%）、地震保険非加入者は35.6%（＝21.6%＋10.6%＋3.4%）を占め、他の職業よりも高い。次いで、地震保険加入者・非加入者とも「無職」の比率が25%程度を占める。

地震保険非加入者を詳細にみると、共済加入者（地震補償）は会社員の比率が26.6%（＝15.4%＋7.7%＋3.5%）で、他の区分よりやや低い。また、「無職」の比率は、共済加入者（地震補償）と共済加入者（地震補償対象外）が他の区分よりやや高い。

(5) 世帯の人数

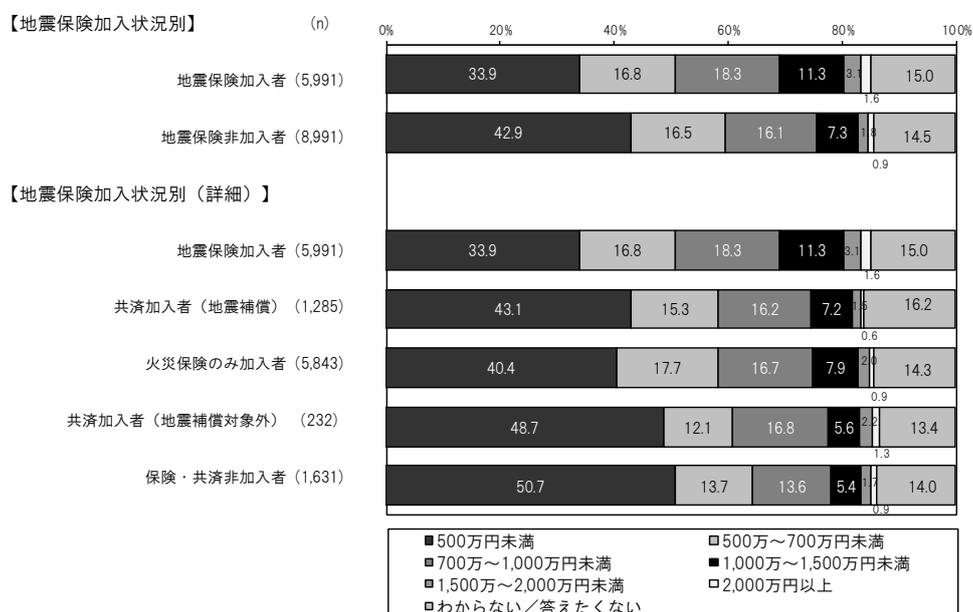


回答者世帯の同居人数（回答者自身も人数に含む）は、地震保険加入者・非加入者とも「2人」が最も多く、39.3%を占める。地震保険加入者・非加入者間で差が大きいのは「1人」の比率で、地震保険非加入者は20.1%、地震保険加入者は11.5%となっており、約9ポイントの差がある。

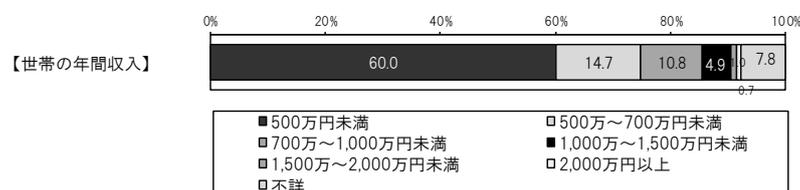
地震保険非加入者を詳細にみると、保険・共済非加入者は「1人」の比率が30.1%で、他の区分を上回る。

(6) 世帯の年収

SC9. あなたの世帯の年収（額面）を、お答えください。（ひとつだけ）



《参考》平成30年住宅・土地統計調査による世帯の年間収入



世帯の年収は、地震保険加入者では「500万円未満」の比率が33.9%と最も高く、次いで「700万～1,000万円未満」が18.3%である。地震保険非加入者においても「500万円未満」が42.9%と最も高く、次いで「700万～1,000万円未満」が16.5%となっている。

地震保険非加入者を詳細にみると、保険・共済非加入者では「500万円未満」が50.7%で最も高く、他の区分を上回る。

《参考》として、平成30年住宅・土地統計調査による世帯の年収を示す。この統計では「500万円未満」が60.0%となっており、本調査のサンプルの方が年収が高い世帯の割合がやや多い。